



ふくしまゼロカーボンアワード2024

希望ヶ丘こども園では、令和6年度もSDGsに取り組み、「ふくしまゼロカーボンアワード2024」にて表彰されることになりました。今年度の新たな取り組みは、「スマートクロック」の設置です。この設置により電気の使い過ぎを見える化して、省エネ意識を高めることができました。2つめは、「SDGsビンゴ」を家庭でも取り組んでいただいたこと。真ん中のビンゴを各家庭で考えていただきました。3つめはSDGs献立を提供したこと。子ども達は給食を通して食育について学びました。今まで捨てていたピーチシャークをおいしくいただいたり大豆でできた本物そっくりのみらいのお肉を使ったメニューを食べたりしました。また、こめ油やフェアトレードの白ごまを使うことの大切さを子ども達は学びました。このようにSDGs献立を取り入れることで、「今日のごはん、お魚!」と食事に興味・関心を持つ子どもが多くなりました。魚が大好きな子どもも増えています。家庭の食事や給食を通して、さまざまな食べ物に出会い、先人が培ってきた文化を子ども達は学んでいます。これこそが乳幼児期の食育です。本園の給食の特色である魚食文化を通して「持続可能な社会を創る」視座を育みたいと思っております。魚は、血や肉となるたんぱく質はもちろんのこと、ビタミン(D、E、B₁₂)、必須ミネラル(カリウム、カルシウム、マグネシウムなど)の栄養素や、高度不飽和脂肪酸をはじめとする、多様な機能性成分など、わたしたちの体に必要な物を多く含んでいます。特にDHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサペンタエン酸)のような高度不飽和脂肪酸は、生活習慣病の予防のみならず、脳の発達を促進することから、小児の発達においての有用性が明らかになっています。これからも有用性の高い給食を提供してまいります。今年度の取り組みをまとめましたので別紙をご覧ください。

SDGsは、「持続可能な社会」を目指しています。園では「持続可能な開発のための教育」を実践しています。子ども達がいろいろな事に気付き、考え、行動する主体的な子どもになって、幸せな毎日を送ることができるようこれからも教育・保育して参りますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

🌸 お願い 🌸

この冬、「取り組みたい家庭でのSDGs」を保育部はお花に、幼稚園部はくまさんのお腹に記入していただき、12月20日まで担任にご提出をお願いいたします。園内に展示させていただきますのでご協力をお願いいたします。





節水・節電



使わない時はこまめに電気を消します。電気の使用量が増えすぎるとスマートクロックが赤になり、お知らせしてくれるので、使用していない電気を消したり、エアコンの設定温度をあげたりして、電気の使用量を控ええます。子ども達が教えてくれます。



水は大切に使うよ！
流しっぱなしにはしません！お家でも守ります。

歯磨きの時は、コップに半分の水を使うよ



スマートクロックを設置し、電気の使い過ぎを見える化して省エネ意識を高めています。

独自の取り組み



みんながはがすのひととかがえてみよう！
くりあしたはがすのひとと○をつけてみよう！
9つぜんぶできたらこどもえんにもってきまわ。
めだるぶとげんとするよ！

SDGsビンゴに取り組み、家庭でも考えるきっかけ作りをしています。真ん中のビンゴは各家庭で考えました。

お父さんお母さんと一緒にSDGsビンゴをしてメダルをもらったよ。



クラス	1週間当たりの一人当たりの残食量	順位
つばき	70g	4
さり	75g	5
うめ	15g	6
かえで	88g	7
さくら	100g	8
もも	124g	
まつ	0g	
たけ	21g	

SDGsだよりの発行を通して家庭とも一体となり未来の地球を守ります！

週間残食量を記録し、チャンピオンを毎週発表してフードロス削減の意識を高めています。

環境

廃材も分けて大切に使います。小さな画用紙や折紙もすぐに捨てることなく大切に使います！



トマトやナスやきゅうりやさつまいもを育て、観察・収穫し、給食に提供しています。自分たちで育てた野菜はおいしいね！残さず食べるぞ！！



絵本にSDGsのアイコンを付けて、意識をして読み聞かせをしています。



SDGs 献立も提供します！

外に出るときは帽子をかぶって元気に遊びます！



アサガオカーテン



みんなでエコチャレンジ！！

今までもあたり前にSDGsに取り組んできました。園舎の周りにアサガオを植えたり、駐車場に畑を作り、作物を育てたり緑化活動に取り組んできました。節電・節水にマイボトル持参の登園、紙の両面印刷、裏紙利用、ゴミの分別、廃材の利用等。

日頃の保育を丁寧に大切に行うことがSDGs、特別なことは何もないと改めて感じています。地球温暖化対策に今から子ども達一人一人が「意識して」取り組んでいけるようこれからも努めていきます。